
days

谷富 精夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

days

【Nコード】

N5754W

【作者名】

谷富 精夜

【あらすじ】

2月25日、“予言”は次々と現実になっていき、世界は…

プロローグのようなもの（前書き）

小説を書くのは初めてで、どのような作品になるか分かりませんが、見ていただけるとありがたいです。

よろしくお願いします！

プロローグのようなもの

2月25日、一人の人間が死んだ

だけどそれは誰も知らない

誰も知ろうとしないんだ

それはとても悲しく

でも、とても……“悲しいことだ”

……ザー……

いつからこうしているだろう

雨の中、一人ずっと横たわっている…

何も感じない、何も聞こえない、何も見えない、何も…何も無い……

いつもなら当たり前のように感じられるもの

全てを失った…

こんなことになるなんて、伏線は何処にあっただらろう？もし伏線があつたのなら、それに気づくことが出来なかった自分を…

俺はこれから一生、恨み、悔やみ、後悔し続けるだろう……

2月20日火曜日

「…では、続いてのニュースです。」

俺は高校に行くまでの間、特にやることも無かったのでニュースを見ることにする

「またしても、東京都渋谷区の…」

俺は“黒沢博信”神奈川に住んでいる平凡な何処にでもいる一県民だ。

今年から高校に入る事になって、もうすぐ一年になる。

私立白霊学院、普通の私立高校

まあ、俺の学力なら楽に入れて、かつ、まあまあ成績で三年間を終えることが出来るだろうと踏んでこの高校を志望し受験、見事合格した。

予想通り学年ではなかなか上位にいる。

「またしても、紅陽高校の“堀川翔太”さんの“予言”が当たりました。今回の“予言”は…」

“博信”「またか…」

最近、よくニュースに取り上げられている。

“予言”

結構話題になった事件があった。

演歌歌手の開大紀がある歌番組の生放送中に殺された。その時の犯人の男がカメラに向かってこう叫んだ：

「コイツ以外あと七人いる！俺はここまでも知れないから！！この番組を見ている方々に願い申し上げる！頼む！残りの七人を！！」

博信「殺してくれ……」

そこまで言った所で放送は中断された。その事件から数日して東京の紅陽高校にいる堀川とか言う奴がテレビ局に手紙で送りつけたらしい……

手紙の内容はこうだ。

『これから14日の間に世界は終わりを迎える。今日より毎日世界で起きる伏線をお伝えします。』

テレビ局はこれを悪戯か何かと判断して無視してたらしいが毎日送られてくる手紙の内容と同じ事件が世界中で起こるので、これを“予言”と命名して、“予言”が当たる度にこうしてニュースで取り上げている。

「あれから一週間になります……」

博信「“予言”ねえ……」

まあ、正直そついうオカルトな類いには興味が無いのでテレビの電源を落とし、高校に向かうことにした。

お断り（前書き）

お断りします

お 八八
断 。 。
り / /

し
()

\\ \\ \\ i
お断りだあああ!!
\\ \\ / / / /

| /
r ノ \\ ノ し

|) 八八 (|

) (°) / |
c / つ (|

y — >
> L ノ \\ ノ

八八

/ (°)

() () () ()

()

、 ^ —

二二三
ノ ノ ノ

お断りします

お断りします

八八 八八

(°) (°)

/ \\ / \\

() () ノ \\ つ ノ \\ つ

お断りします
お断りします
り断り
()

お断りします

ガチャ
と
お断りします
お断りします

お断りします

お断りします
お断りします
お断りします
お断りします

お断りします

お断りします
お断りします
お断りします
お断りします

>	y	⌋	⌋	r	\
L	—	c	°	ハ	\
⌋	—	/	°	ハ	/
\	>			ハ	—
⌋		⌋	⌋	ハ	/
		⌋	⌋	ハ	/
			/		

お断り（後書き）

お断りだー！

四限目（前書き）

まず最初に…すみませんでした!!

第二話(?)ではあまりの時間の無さと早く投稿しなければというプレッシャーからあのよような血迷った行動をとってしまい、本当にすみませんでした!!!!!!

長々と失礼しました。

では宜しく願います。

四限目

教師「…であるからして、ここで余弦定理を……………」

ただいま四時限目の授業中、教科は数学…憂鬱だ……

話しなどほとんど聞かずにシャーペンを弄んでいると、背後から背中をつつかれる。

「…………ユーシ、ユーシ！」

博信「なんだ？松宮？」

松宮「見たか？今日の予言？」

博信「あゝ、あれか…」

こいつは、松宮まつみや 優ゆう

付き合いは高校から何だが、一年の最初の頃にあつた交流宿泊研修つてので知り合つて妙に気が合うんで、そのままつるみ初めてもう一年になる。

こいつの言う“ユーシ”つてのは俺のニックネームなんだがユーシつてのは松宮が考えたニックネームなんだが、これがかかり凝つてる。

なんでも博信でヒロ、んでヒーロー、訳すと勇士と訳せて、だからユーシらしい。

博信「ああ言う類いには興味ねえからな、内容も見ずに家出てきたよ」

優「だろうな」

苦笑しながら優が鞆をあさり、一枚の紙を手渡してくる。

受け取り、内容を確認する。

どうやら何かのサイトをプリントした物のようだ。

博信「15の肉片、見つけ出すには星を辿れ？」

手渡された紙には“15の肉片！見つけ出すには星を辿れ！！”とタイトルにデカデカと書かれており、そのタイトルに複数の人物がコメントをしているというものだった。

博信「なんだ、これ？」

四限目（後書き）

今回から後書きには、次回の予告のようなものを書いていこうと思
っています。

と言うわけで早速、次回の“days”は…

いよいよ、タイトルにもなっている“days”の真相が明らか
になるとかならないとか……

では、次回作も宜しく願います！

days前編(前書き)

どうも、精なる夜と書いて精夜です。

毎日投稿というのが出来なくてすみません。

申し訳ない限りです…

なるべく早く次話を投稿できるよう努力するんで暖かな目で見守ってやって下さい。

それではdays前編、スタートです！

days 前編

先生「よし、今日はここまで。問4と問5は…」

優「おしつ、お待ちかねの昼休みだ ユーシ、一緒に食…」

「ヒーロー！一緒に食べよ」

優「んだよフー、俺が先約入れてたのによ」

博信「まあ良いだろ」

風「そうそう 細かいことを気にしすぎだつての“猿”は」

優「だから猿って言うなー！」

風「猿は猿でしょ？ま・猿さーん」

優「うがあああああ！！！！！」

博信「まてまて…風もほどほどにしとけよ？」

今にも風に襲いかかりそうな優を落ち着かせながら、風に軽く注意する。

こいつは…

風「私の名前は天条^{てんじょう} 風^{ふう}、私立白霊学院に通う高校二年の元気でかわいい女の子 恋愛シミュレーションゲームなんかでは意外と私み

たいなキャラクターが最初に攻略される事が多いんだぞ」

博信「誰に話してるんだよ……」

風「ん？そりゃあ読者の皆様だよ」

博信「……………そうか……」

本格的にコイツは危ないかも知れない。
取り合えずスルーしておこう……

博信「んで、優……あの紙はなんだったんだ？」

優「ん？ああ、だから予言だよ予言」

博信「ニュースでやってたやつか……」

優「そつ、予言」

風「本当ミステリーもの好きだよね〜猿は」

優「大好きだ！しかも今回はリアルだ！！最高だ！！……」
猿と言われたことが気にならないくらい好きらしい……

優「次々に公開される予言、怪奇事件！そして必ず起きる怪奇事件は全て3日以内に達成されている！！たまんねーよ！！……」

博信「わかったから叫ぶな……」

そうしてしばらく優のミステリー熱談を聞き流して、昼休みの時間

も残り10分ほど

博信「よし、そろそろ行くわ…」

風「はいはい、頑張つてね」

優「あ、今日だったか頑張な！」

博信「ああ、んじゃお先」

そう言つて俺は教室を出て職員室へと向かう

俺の父親と母親は小さい時に他界、それからは叔父と叔母の世話になつてた。でも中2にもなるとさすがに迷惑かと思ひ、高校に上がる際に一人立ちすることを決意した。

学校公認でバイトをしているんだが生活費の事を考えると普通のバイトでは足りず、週に二回ほどこうして昼に学校を抜けてバイトに行っている。

もちろんこれも学校公認だ。まあそれも考えてこの高校を受けたしな…

教師「ああ分かった。気をつけてな。」

博信「はい。それじゃあ失礼します。」

そうして俺はバイトに向かうことにした。

days前編（後書き）

お疲れ様でした。

いかがでしたか？

…駄作？……ですよね…

次は頑張ります！

次話の『days後編』は、タイトルにもなっている“days”の真実が明らかになります。

それではまた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5754w/>

days

2011年10月30日01時20分発行